

3) このための財源措置は次による。

——国民年金制度は国の拠出

——補足年金制度は所得比例による労使の  
拠出

——国民健康サービスは国の拠出

——傷病手当金は所得比例による労使の拠  
出，自営業者については加入者の拠出  
と国庫補助金

——失業保険および家族手当は，給料に比  
例した拠出と国庫補助金

以上のような計画の達成をめざして，その  
第一段階の改革として，1965年の最低年金額  
とスライド係数の増額，定額の福祉年金のため  
の基金が創設された。

しかし，これらの改革案の中でも，現在最も  
激しい論議の対象となっているのは，国民  
健康サービスである。このためには大規模な  
保健制度の改革整備が必要であり，またその  
財源調達も重大な問題であるからである。

ともあれ，各政党の意見の相違の間にあっ  
て，政府のとり態度は一貫性を欠いており，  
この社会保障の全体的改革達成の努力も，単  
なる夢物語となる可能性がある。

Dr. Franco Illuminati, "L'evolution du  
système italien de sécurité sociale", *Droit*

*Social*, décembre 1967, pp. 645~653.

(藤井良治 厚生省保険局)

## ケースワーク事務の電算化



ケースワーカーの複雑な事務の仕事を簡素  
化しようと多くの委員会や研究者が長い間努  
力してきた。クライアントに与える支給額を  
適切に決定すること，小切手の振出しなどは  
特に複雑な分野であり，これらの仕事はケー  
スワーカーの全事務量の半分を占めていた。

1958年から，この仕事の分野を削減，また  
は簡単にするための装置が捜しはじめられ，  
数多くの電子計算機が試されたが，その結果  
IBM 1410が使用されることになった。1962  
年の終わりには，電子的にデータを処理する  
施設(EDP)によって，平常取り扱われて

いるデータが数本の磁気テープに収録された  
が，これは瞬間的にIBM 1410の記憶装置に  
とどめられた。

### Yorkville の実験装置

ちょうどこのころ，複雑な国の財政計画を  
能率的に立案するために，電算機の記憶装置  
を利用しようと新しく研究委員会が組織され  
た。そして1963年の初頭に，実験的な装置が  
Yorkville のセンターに設けられ，プログラ  
ムがセットされた。しかし，この計画は，そ  
の当時から現在まで続いている電算化熱から

くる慢性的な用紙の不足によって、その年の秋までもちこされたが、11月から始動し約6ヵ月間作動した。時がたつにつれ、多くの「誤り」が発見され、このプログラム・システムは大幅に手直しされねばならなくなった。データをカードに穿孔し、テープに移し、処理をするという過程は、最初のキイパンチの段階でスピードアップするうえでの大きな隘路にぶつかったのである。

財務管理局と保護局は、この問題を解決するために“ABC”と呼ばれる自動的に保護費を算定する装置の拡張をはかり、QueensとKingsbridgeにある2つのセンターを選びだし、2基の補助システムを付け加えた。

1つの補助システムはIBM 1050である。これは各センターでの新データを紙テープに記録するものであるが、このテープは中央のEDPに転送され、そこで、各センターから集計された新情報を、2、3分のうちに主電算機であるIBM 1410に読みこむ作業が行なわれる。

#### テレタイプ装置

1967年夏、これまでのIBM 1050にかわって、新しく開発されたテレタイプ装置を用いることになった。この装置は、中心部にテレタイプの機構を備えていて、ただ単にIBM 1050の作業内容のすべてを行なうだけでなく紙テープと同時に、新しくマスターカードを作成するものである。このマスターカードはオペレーターが電算機に情報を与えるときに大いに利用できるもので、IBM 1050を使用していたときは、このカード作成の作業は、中央のセンターでしなければならなかった過程であり、この装置を用いることによって時間が大いに節約されることになった。

第二の補助システムはIBM 1232であるがケースワーカーが、ある特別な形式で鉛筆書きした記号を、主電算機に提供しやすい情報に翻訳し、それによってあらゆる小切手を振り出す過程を容易にするものである。

#### プログラムの修正

QueensとKingsbridgeの両センターに、補助システムを含む電算装置が設置された1965年12月以来、かならずしも作業は順調に進

行しなかった。1966年は、職員の意見をもとに、多くのプログラム上の誤りを手直しすること、プログラムの変更、2台目のIBM 1050の設置、などに明け暮れた混乱の一年間であった。

#### いくつかの限界

電算機は政治的にものごとを判断する機能を有していない。そのためケースワーカーは、扶助額の算出方法、どの種類の扶助方法を使うかなどについて決定しなければならない。しかし、それさえ決めれば、実際の扶助額については計算する必要はない。なぜなら、その解答は、すでに電算機に記憶されているからである。そして、現在では、新しいIBM 360という巨大な記憶装置をもつ電算機の開発が進められている。

1967年11月現在、6カ所のセンターで“ABC”システムが採用されている。

Vincent P. Porteus, “The Story of Automatic Budget Computation,” *The Welfareer*, January, 1968, pp. 4-5, 16-17.

(根本嘉昭 全社協)